

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 3 部門第 3 区分
 【発行日】 令和 7 年 1 月 29 日 (2025.1.29)

【公開番号】 特開 2022-82805 (P2022-82805A)
 【公開日】 令和 4 年 6 月 2 日 (2022.6.2)
 【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-098
 【出願番号】 特願 2022-65061 (P2022-65061)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 1 3 3 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 J 7 / 3 8 (2 0 1 8 . 0 1)

【 F I 】

C 0 9 J 1 3 3 / 0 6

C 0 9 J 7 / 3 8

10

【手続補正書】
 【提出日】 令和 7 年 1 月 20 日 (2025.1.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 特許請求の範囲
 【補正対象項目名】 全文
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

n-ヘブチル (メタ) アクリレートに由来する構成単位と架橋性官能基を有するモノマーに由来する構成単位とを有するアクリル共重合体、架橋剤、及び粘着付与樹脂を含有する粘着剤組成物を含有する粘着剤層を有し、

前記粘着剤層のゲル分率が 70 重量%以下であり、

前記架橋性官能基を有するモノマーは、カルボキシル基を有するモノマーを含み、

前記カルボキシル基を有するモノマーに由来する構成単位の含有量は、前記アクリル共重合体を構成するモノマー 100 重量部に対して 2.9 重量部以上である、粘着テープ。

30

【請求項 2】

前記アクリル共重合体は、n-ヘブチル (メタ) アクリレートに由来する構成単位の含有量が 48 重量%以上であることを特徴とする請求項 1 記載の粘着テープ。

【請求項 3】

前記アクリル共重合体は、炭素数 8 以上のアルキル基を有する (メタ) アクリレートに由来する構成単位の含有量が 50 重量%以下であることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の粘着テープ。

【請求項 4】

前記アクリル共重合体は、前記架橋性官能基を有するモノマーに由来する構成単位の含有量が 20 重量%以下であることを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載の粘着テープ。

40

【請求項 5】

前記架橋性官能基を有するモノマーは、水酸基を有するモノマーを含み、

前記アクリル共重合体は、下記式 (1) で表される値 X が 2 以上 50 以下であることを特徴とする請求項 1、2、3 又は 4 のいずれか記載の粘着テープ。

【数 1】

$$X = \left(M_{w_{polymer}} \right) \times \frac{W_{OH}}{W_{total}} \times \frac{n}{M_{OH}} \quad (1)$$

50

式(1)中、 $M_{w\text{polymer}}$ はアクリル共重合体の重量平均分子量、 W_{OH} はアクリル共重合体に占める水酸基を有するモノマーに由来する構成単位の含有量(重量部)、 W_{total} はアクリル共重合体を構成する全モノマーの含有量(重量部)、 M_{OH} は水酸基を有するモノマーの分子量、 n は水酸基を有するモノマーの水酸基価数を表す。

【請求項6】

前記値Xが5以上30以下であることを特徴とする請求項5記載の粘着テープ。

【請求項7】

前記架橋性官能基を有するモノマーは、水酸基を有するモノマーを含むことを特徴とする請求項1、2、3又は4記載の粘着テープ。

【請求項8】

前記アクリル共重合体は、テトラヒドロフルフルル(メタ)アクリレート及びイソボルニル(メタ)アクリレートからなる群より選択される少なくとも1種のモノマーに由来する構成単位を有し、前記テトラヒドロフルフルル(メタ)アクリレート及びイソボルニル(メタ)アクリレートからなる群より選択される少なくとも1種のモノマーに由来する構成単位の含有量が1重量%以上40重量%以下であることを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6又は7記載の粘着テープ。

【請求項9】

前記アクリル共重合体の重量平均分子量が20万以上200万以下であることを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7又は8記載の粘着テープ。

【請求項10】

前記粘着付与樹脂は、ロジンエステル系粘着付与樹脂及びテルペン系粘着付与樹脂からなる群より選択される少なくとも1種であることを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8又は9記載の粘着テープ。

【請求項11】

前記粘着剤組成物は、界面活性剤を含有しないことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9又は10記載の粘着テープ。

【請求項12】

前記粘着剤層のゲル分率が10重量%以上70重量%以下であることを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10又は11記載の粘着テープ。

【請求項13】

JIS Z 0237:2009に準拠して測定したガラスに対する180°剥離力が5N/25mm以上であることを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11又は12記載の粘着テープ。

【請求項14】

JIS Z 0237:2009に準拠して測定したポリカーボネート板に対する180°剥離力が5N/25mm以上であることを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12又は13記載の粘着テープ。

【請求項15】

電子機器部品又は車載部品の固定に用いられることを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13又は14記載の粘着テープ。

【請求項16】

前記カルボキシル基を有するモノマーは、アクリル酸を含むことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14又は15記載の粘着テープ。

【請求項17】

請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15又は16記載の粘着テープを用いて電子機器部品又は車載部品の固定することを特徴とする電子機器部品又は車載部品の固定方法。

【請求項18】

請求項17記載の電子機器部品又は車載部品の固定方法を含むことを特徴とする電子機器

10

20

30

40

50

部品又は車載部品の製造方法。

10

20

30

40

50